

単元名「そだてよう さかせよう」

< 本時の課題 >

あさがおとなかよしになるため、あさがおのことをもっとしろう。

全10時間予定の7時間目。

前回までに「種まきの様子」「発芽した様子」の2回を観察カードに記録している。

< 授業の視点 >

形や大きさなど生長の仕方についての視点を持ってあさがおを観察したことは、あさがおの生長の様子に気付き、生長への思いや願いを深めるために効果的であったか。

♪ キ〜ンコ〜ンカ〜ンコ〜ン

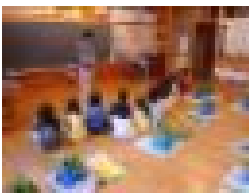


毎日水をあげたり、あいさつをしたり、みんなあさがおさんとすっきりなかよしですね。今日の勉強でもっとなかよしになりましょう

< であう >

今までのあさがおのようすをとった写真があります。あさがおが大きくなった順番に正しくならべましょう。

写真:【たね】【発芽前】【発芽直後】【双葉が開いた頃】【本葉が生えてきた頃】



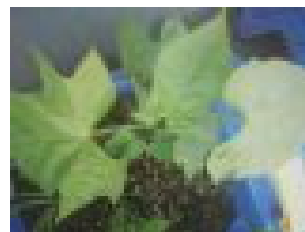
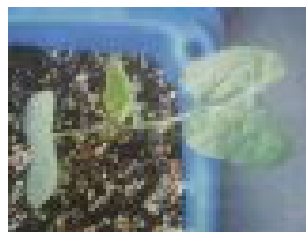
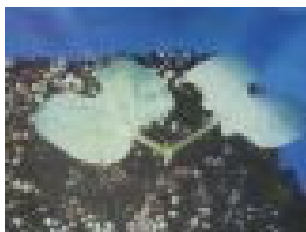
[手だて]

視点(形、大きさ、数、くきの長さ、色など)をもって観察することを意識できるように5枚の写真を生長の順番に並べさせ、なぜその順番に並べたのかを質問した。

はじめにたねまきをしたからこれが一番だ!



小さいものが見えてくるよ。



葉っぱの形がハートだよ。ってことはふたばだ!

新しい葉っぱが出てきてる……。色がちがうね。

一番葉っぱが大きくて、数が多いからこれはさいごだよ!



熱い話し合いのすえ・・・



の順番に並べた。



あさがおさんは、大きくなるにつれて、葉っぱやくきの「形」「色」「大きさ」「数」などがかわってくるんですね。

[手だて]

望ましい観察の仕方やあさがおのかかわり方を意識できるよう、前回までの子どもたちが一生懸命観察する姿や、丁寧な観察カードの記述を紹介した。

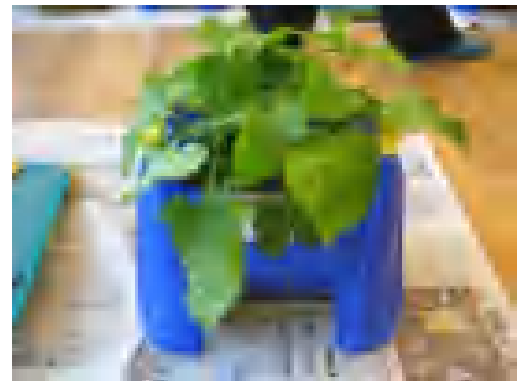
<かかわる>

今の自分のあさがおをよ～く見てみましょう。

[手だて]

多様な気づきが出るよう、五感を使って子どもたちが思い思いに観察する時間を設けた。

かかわり方に困っている児童には、教師が葉っぱを手で触ってみせたり、においをかいでみせたりした。



私のはふわふわしている気がするよ！

葉っぱの表や裏など色んなところを触ってみよう。

くきをさわるとどうかな？

葉っぱをさわるとざらざらするね！

この中はどうなっているのかなあ・・・。



葉っぱに穴があいている・・・。

きっと虫が食べたんだね！

なぜかな？友だちのはどうだろう。



気付いたことや友だちに伝えたいことをカードに書きましょう。

[手だて]

観察カードを書くことが児童の負担にならないよう、メモする程度の小さいカードを用意した。気付いたことを一枚に一つ、絵や文など自由に書くように指示した。何枚使用してもよいことを伝えた。うまく書けない児童には教師が代筆をするなど、表現の手助けをした。



<ふりかえる>

見つけたことをみんなに発表しましょう。

葉っぱにとげとげがあった。

葉っぱのうらがふわふわして
いて、おいしそうだった。

葉っぱの間に葉っぱの赤ちゃんがいた。



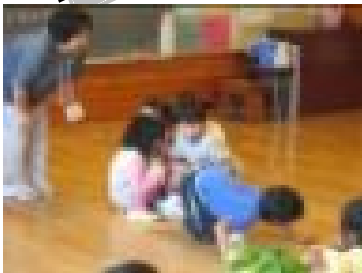
大きくなったあさがおさんたちはどんなことを思っているか、考えてみましょう。

[手だて]

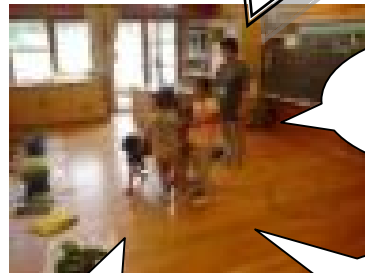
あさがおへの愛着を高めるとともに、あさがおの観察や世話への意欲を高められるよう、以下の2つの活動をした。

みんなでフラフープの中に入ってみよう。

芽が出たころは小さなあさ
がおさんたち・・・



大きくなってみるとど
うかな？



とてもきゅう
くつだね！

はみ出しちゃ
ったよ！

ぶつかっちゃ
うよ～。

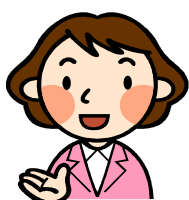
土の中を見てみよう。



土にかくれている部分はこうなっているよ。

ねっこがとても大きいね！

いっぱいあったらからんじゃうよ！



このままではあさがおさんが大変なことになってしまいそうですね。みんなであさがおさんを助ける方法を次回考えましょう。

キ～ンコ～ンカ～ンコ～ン ♪

授業を終えて

(成果)

導入で、生長の順に写真を並べ替えをしたことで、あさがおのなにを見ればよいのか、観察の視点を明確にすることができた。そのため児童はあさがおをしっかり観察することができ、様々な気づきが生まれた。観察の時間を多めに取ったことで、児童が五感を使って、思い思いの方法で観察することができた。あさがおになりさせたり、根の部分の写真を用意したりしたことで、生長してきたあさがおに対する世話の方法を無理なく考えさせることができた。

(課題)

カードの取り入れ方。

(子どもの気づきのじゃまにならないようなカードの使い方を考えなければならない。)

子どもの気づきに対する教師の対応のしかたや見取りの方法。

(教師の「つなぎ」役をどう行うか。また、どんなことに気付かせたいか、単元を通した教師のビジョンを持たなくてはならない。)